

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)			
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比
A-1									
中事業に含まれる小事業名	相談事業 (旧:市民相談事業)	維持・継続	○全体的には「維持・継続」だが、小事業も含め事業の合理化、省力化に取り組むべき。	維持・継続	厳しい社会・経済情勢が続く中、本事業に対する市民ニーズは増加していくことが想定される。市民事業評価の結果を踏まえ、限られた行政資源を活用し、対応していく。市民の声の事務処理については、文書システムへの移行を図るとともに、決裁区分、事務フローの検討を行っていく。引き続き、職場研修実施などにより、法律知識、市民ニーズに関わる内容の知識習得に努め、職員のスキルアップを図る。	10,217	10,354	137	101.3%
	専門家による法律・税務・登記の相談	現状維持	○個人の秘密に関する問題が多いという意味で公的機関に相談できることが相談者にとって安心であり、廃止できる事業であるとは考えない。	現状維持	市民事業評価を踏まえ、限られた行政資源を活用し対応していく。予算については、曆に起因する実施日数増	6,246	6,380	134	102.1%
	市民相談事業	現状維持	○役に立ったり感謝している人が多いのではないかと。 ○現業務遂行状況に異論はない。	現状維持	市民相談の内容は多様化し、増加している。引き続き、職員の知識習得・調整能力の向上等、スキルアップを図ると同時に、業務改善を行っていく。予算については、曆に起因する嘱託員出勤日数の増	3,921	3,924	3	100.1%
	法律援助事業補助金	現状維持	○鎌倉市の義務であり他市と同等・同額の補助金は引き続き必要	現状維持	当該団体の行う事業の公的性格及び継続性から、併せて市民事業評価の結果を踏まえ、引き続きの補助を行う。	50	50	0	100.0%
所管課名		市民相談課		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	・ 専門家による法律・税務・登記の相談 特別相談(法律相談等)相談員報償費 6,350	・ 法律援助事業補助金 横浜弁護士会法律援助事業補助金 50			
総合計画上の位置付け		計画の推進 市民参画・協働の推進			法律相談 年間 143回 法律相談(夜間) 年間 23回 税務相談 年間 17回 登記相談 年間 12回 消耗品費 30				
事業の目的	対象	市民等			・ 市民相談事業 フロア相談員報酬(庁内案内業務)3人 2,408 旅費費用 383 事務補助嘱託員報酬1人 1,028 筆耕翻訳料 12 消耗品費 93				
	意図	各個人の悩み・問題を解決するとともに、市民からの直接の意見・要望等を聴取し、行政に反映させるため							
	効果	市民等が安心して生活ができるように支援するとともに、市民等の声を聴取しそれらを行政運営に反映させる							

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)			
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比
A-2									
予算上の 中事業名	青少年会館 管理運営事業	維持・継続	○指定管理者制度を活用しないからには更なる工夫を施し、事業の効率化を図るべき。	維持・継続	青少年の健全育成という行政目的を持って設置している施設であり、目的を達成するために運営を続けるべきである。各種講座や機能などについては、青少年や地域の意見を取り入れ、子ども・若者育成プランの推進拠点として、より有効な活用を図る。	36,814	37,598	784	102.1%
	青少年会館 運営事業 (旧:各種講座 開催事業)	再構築	○対象者がいつでも利用できるという施設として機能するよう工夫が必要である。○30歳未満の青少年の利用者が少ないので、当該施設がなくても困る人がいないのではないか。	再構築	「子ども・若者育成プラン」では、地域のつながりの大切さを理念に掲げているところであり、行政側の一方通行ではなく、参加者の交流につながるような講座の開催、青少年や地域の力を活かした講座の企画や実施など、青少年会館が青少年と地域とを繋げる場になるように有効活用していく。	16,390	16,249	△141	99.1%
中事業に 含まれる 小事業名	青少年会館 管理事業	現状維持	○入札等で価格を決定しているのであれば現状維持でOKである。	現状維持	本事業は、設備の法定点検や修繕など施設の維持管理に必要な経費を計上しており、今後も施設の適正な維持管理に努めていくものである。なお、平成24年度予算については、ボイラー設備不使用に伴う撤去作業の経費、防音設備の整備にかかる経費を増額している。	20,424	21,349	925	104.5%
	所管課名	青少年課							
総合計画上の位置付け		健やかで心豊かに暮らせるまち 青少年育成:青少年が健全に成長・発達しているまち		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> 青少年会館運営事業 会館嘱託員報酬5人 7,632 会館事務補助嘱託員報酬3人 3,085 臨時的任用職員賃金 1,810 各種講座の講師謝礼 2,650 会館嘱託員費用弁償 624 会館運営用消耗品費 413 印刷製本費 32 医薬材料費 3 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年会館管理事業 会館管理用消耗品費 381 会館光熱水費 5,059 青少年会館維持修繕料 5,000 鎌倉青少年会館昇降機設備点検手数料 743 消防用設備点検等手数料 694 会館清掃委託料 3,674 会館夜間等管理業務委託料 2,588 会館機械警備委託料 1,000 鎌倉青少年会館空調設備点検委託料 420 会館自動ドア点検等委託料 896 簡易印刷機等賃借料 434 青少年会館講座用備品購入費 118 燃料費 12 備品修繕料 30 電信料 300 			
事業の 目的	対象	青少年							
	意図	交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため							
	効果	青少年の健全育成に寄与する							

※ 本事業における財政効果額は、差額784千円から高熱水費の緊急値上げに伴い増額された320千円を除いた額464千円とする。

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)																																																																											
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比																																																																								
A-3																																																																																	
予算上の 中事業名	小学校運営 事業・ 中学校運営 事業	維持・継続	○教育関連予算の確保は最優先事項 ○将来的には学校統合が行われるべき。	充実・拡大	ここ数年、厳しい財政状況が続く中、小中学校の運営経費も減少傾向にあり、加えて児童生徒数が増加していることから、教材・教具や遊具・体育器具・楽器などの備品類の整備・更新に苦慮している。そこで「教育関連予算の確保は最優先事項」との意見もあることから、後期実施計画に「学校教育環境の充実(教材・教具の整備)」を位置付け、教材・教具の計画的な更新を図ることとした。	139,790	148,864	9,074	106.5%																																																																								
中事業に 含まれる 小事業名	小学校運営事業	現状維持	○更なるスケールメリットを追求するため、広域連携を進めるべき	充実	スケールメリットを生かす手法として、各学校共通で必要となる物品類のうち、購入時期・購入数量があらかじめ確定できる物品については、教育委員会で集約し購入手続きを行っている。一方、近隣小中学校の広域連携については、予算科目や教育課程の違いなどから困難である。なお、平成24年度以降は、生徒用机・椅子の更新、教育用テレビの更新、FF式灯油ファンヒーターへの更新等を図っていく。	82,550	91,772	9,222	111.2%																																																																								
	中学校運営事業	現状維持	○更なるスケールメリットを追求するため、広域連携を進めるべき。	充実	前述のとおり。なお、予算額については、高額備品等の計画更新を実施する一方で経常的経費が減少したことによる相殺減	57,240	57,092	△148	99.7%																																																																								
所管課名		教育総務課																																																																															
総合計画上の位置付け		健やかで心豊かに暮らせるまち 学校教育：子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)																																																																													
事業の 目的	対象	市立小学校の児童等 市立中学校の生徒等																																																																															
	意図	安定した学校運営を支援するため																																																																															
	効果	質の高い公教育の実施を図る																																																																															
				<table border="0"> <tr> <td>・小学校運営事業</td> <td></td> <td>・中学校運営事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教材用他消耗品費</td> <td>59,146</td> <td>教材用他消耗品費</td> <td>36,398</td> </tr> <tr> <td>プロパンガス・灯油等燃料費</td> <td>5,344</td> <td>プロパンガス・灯油等燃料費</td> <td>3,076</td> </tr> <tr> <td>学校要覧等印刷製本費</td> <td>1,400</td> <td>学校要覧等印刷製本費</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>校舎小破等修繕料</td> <td>2,804</td> <td>校舎小破等修繕料</td> <td>1,990</td> </tr> <tr> <td>教材教具等備品修繕料</td> <td>3,171</td> <td>教材教具等備品修繕料</td> <td>2,258</td> </tr> <tr> <td>保健用医薬材料費</td> <td>893</td> <td>保健用医薬材料費</td> <td>417</td> </tr> <tr> <td>保健衛生用手数料</td> <td>455</td> <td>保健衛生用手数料</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>校舎維持等委託料</td> <td>5,470</td> <td>校舎維持等委託料</td> <td>3,653</td> </tr> <tr> <td>遊具点検委託料</td> <td>800</td> <td>体育器具点検委託料</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>備品廃棄処分委託料</td> <td>500</td> <td>備品廃棄処分委託料</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>教材用他備品購入費</td> <td>8,913</td> <td>教材用他備品購入費</td> <td>6,316</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>126</td> <td>報償費</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>交際費</td> <td>94</td> <td>交際費</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>20</td> <td>食糧費</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>車両修繕料</td> <td>60</td> <td>車両修繕料</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>筆耕翻訳料</td> <td>118</td> <td>筆耕翻訳料</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>2,458</td> <td>使用料及び賃借料</td> <td>1,174</td> </tr> </table>		・小学校運営事業		・中学校運営事業		教材用他消耗品費	59,146	教材用他消耗品費	36,398	プロパンガス・灯油等燃料費	5,344	プロパンガス・灯油等燃料費	3,076	学校要覧等印刷製本費	1,400	学校要覧等印刷製本費	619	校舎小破等修繕料	2,804	校舎小破等修繕料	1,990	教材教具等備品修繕料	3,171	教材教具等備品修繕料	2,258	保健用医薬材料費	893	保健用医薬材料費	417	保健衛生用手数料	455	保健衛生用手数料	277	校舎維持等委託料	5,470	校舎維持等委託料	3,653	遊具点検委託料	800	体育器具点検委託料	135	備品廃棄処分委託料	500	備品廃棄処分委託料	400	教材用他備品購入費	8,913	教材用他備品購入費	6,316	報償費	126	報償費	10	交際費	94	交際費	113	食糧費	20	食糧費	11	車両修繕料	60	車両修繕料	50	筆耕翻訳料	118	筆耕翻訳料	195	使用料及び賃借料	2,458	使用料及び賃借料	1,174				
・小学校運営事業		・中学校運営事業																																																																															
教材用他消耗品費	59,146	教材用他消耗品費	36,398																																																																														
プロパンガス・灯油等燃料費	5,344	プロパンガス・灯油等燃料費	3,076																																																																														
学校要覧等印刷製本費	1,400	学校要覧等印刷製本費	619																																																																														
校舎小破等修繕料	2,804	校舎小破等修繕料	1,990																																																																														
教材教具等備品修繕料	3,171	教材教具等備品修繕料	2,258																																																																														
保健用医薬材料費	893	保健用医薬材料費	417																																																																														
保健衛生用手数料	455	保健衛生用手数料	277																																																																														
校舎維持等委託料	5,470	校舎維持等委託料	3,653																																																																														
遊具点検委託料	800	体育器具点検委託料	135																																																																														
備品廃棄処分委託料	500	備品廃棄処分委託料	400																																																																														
教材用他備品購入費	8,913	教材用他備品購入費	6,316																																																																														
報償費	126	報償費	10																																																																														
交際費	94	交際費	113																																																																														
食糧費	20	食糧費	11																																																																														
車両修繕料	60	車両修繕料	50																																																																														
筆耕翻訳料	118	筆耕翻訳料	195																																																																														
使用料及び賃借料	2,458	使用料及び賃借料	1,174																																																																														

※ 本事業における財政効果額は、差額9,074千円から環境教育の一環として購入した生ゴミ処理機の購入費700千円を除いた額8,374千円とする。

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)			
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比
予算上の 中事業名	社会福祉協議会 支援事業	統合・ 再構築	○人件費、特に役員報酬への行政からの補助は削減すべきである。現場で従事しているスタッフへの手当てを充実すべきである。 ○協議会事業の重要性は十分に認識しているが、事業費といいつつもその実態は主たるものが管理者の人件費というのは疑問がある。	維持・継続	地域福祉の推進や福祉サービスの実施は、マンパワー無くして進めることが不可能であり、社会福祉協議会に限らず、福祉事業の経費の大部分が「人件費」である。社会福祉協議会への人件費補助が、この福祉の推進を担う職員以外への補助であれば、これを再構築することが必要だが、市からの「人件費補助」は、地域福祉の推進に必要な事業を実施する「事業に対する補助」として現場の職員の人件費を中心に行っているものであり、現状維持とする取組方針が、市民評価人の本来の意に反していないものとする。	54,187	52,073	△ 2,114	96.1%
	中事業に 含まれる 小事業名	社会福祉協議会 支援事業	再構築	○前述のとおり	現状維持	前述のとおり。予算については、事業経費の見直しによる減	54,187	52,073	△ 2,114
所管課名		福祉総務課		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会支援事業 鎌倉市社会福祉協議会補助金 52,073 				
総合計画上の位置付け		健やかで心豊かに暮らせるまち 健康福祉：すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち							
事業の 目的	対象	鎌倉市社会福祉協議会							
	意図	地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため							
	効果	事業補助を行うことにより社会福祉協議会の財政基盤を安定させる							

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)			
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比
B-2									
予算上の中事業名	公衆トイレ清掃事業	統合・再構築	○清掃業務は継続すべきだが、公衆トイレの有料化を検討すべきである。 ○公衆トイレ利用者の声を集め、より多くの市民、観光客の声を元に収支の面も含め再構築が必要 ○費用対効果、有料化、広告収入、水道料金・LED・太陽光パネル等、経費削減、検討する課題が多いと思われる。	統合・再構築	市内に設置された公衆トイレを快適で清潔に保つためには、基本的に現在の清掃事業の内容を継続していく必要があると考えており、清掃委託経費を近隣他市と比較しても高い費用対効果が得られている。また、公衆トイレの有料化については、各地で試みられているが、都市部では付加価値をつけ、より快適なトイレを提供する目的で実施されている。鎌倉市においても、トイレの設備機器及びメンテナンス技術を提供する業者に対し、企業広告の掲出を認めることで機器の延命を図るとともに、清潔で快適なトイレを実現し、最終的に改修経費の軽減につながる方法を検討している。	42,180	44,281	2,101	105.0%
	中事業に含まれる小事業名	公衆トイレ清掃事業	再構築	○前述のとおり	再構築	前述のとおり。予算については、大船駅西口公衆トイレ及び大船駅西口交通広場公衆トイレの清掃に係る経費(大船駅周辺整備課所管分)を統合したことによる増	42,180	44,281	2,101
所管課名		環境保全課		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ清掃事業 公衆トイレ電気料 1,200 公衆トイレ水道料 14,994 公衆トイレ維持修繕料 1,150 公衆トイレ清掃業務委託料(公衆トイレ39箇所) 24,792 公衆トイレ消臭器保守点検業務委託料 871 汚物水中ポンプ槽内清掃業務等委託料 543 公衆トイレ電気料負担金 362 消耗品費 366 し尿処理手数料 3 				
総合計画上の位置付け		都市環境を保全・創造するまち 生活環境：環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち							
事業の目的	対象	市民等							
	意図	公衆トイレの維持、清掃を通じまちの美化を推進、良好な都市環境を向上させるため							
	効果	快適で清潔なトイレの実現が図られる							

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)			
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比
B-3									
予算上の中事業名	消防団運営事業	維持・継続	○東日本大震災の被災経験を教訓として防災対策を強化してほしい。 ○消防団員のスキルアップ及びマンパワーの拡大が必要で、市民生活が安心して送れる消防組織を作っていくべき。	充実・拡大	消防団は、地域社会における消防防災の中核的存在として、消火活動は勿論のこと、地域行事を通じての防火指導や火災予防の啓発、また、イベント等での警戒警備など地域に密着した幅広い活動を行うことが期待されている。団員確保や資機材の整備について、さらに充実・拡大を図る。さらには、3月11日の東日本大震災の経験をいかして消防団の一層の充実強化を進める。	38,963	45,115	6,152	115.8%
	中事業に含まれる小事業名	消防団運営事業	現状維持	○前述のとおり	充実	前述のとおり。予算については、資機材の整備による増	38,263	44,415	6,152
	消防団員福利厚生事業	現状維持	○福利厚生費は団結、やる気を維持するため大切だが、程度ものだと思う。予算が無い折、これだけを優遇するわけにはいかず、全体予算の中から考えるべきである。	現状維持	消防団は、地域社会における消防防災の中核的存在として、昼夜を問わず、さまざまな活動を余儀なくされている。そのため、日頃様々な負担をかけ、併せて消防団業務に理解をいただいている家族に対し、労をねぎらう目的で今後も家族慰安事業の実施は必要である。	700	700	0	100.0%
所管課名		消防総務課				<ul style="list-style-type: none"> 消防団運営事業 消防団員報酬 440人 13,984 消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 1,447 消防団員退職報償金 12,000 消防団員貸与被服費 500 分団器具置場各所修繕料 800 分団車両修繕料 1,724 消防団無線機保守点検委託料 372 分団器具置場賃借料 321 消防団資機材備品購入費 3,111 神奈川県消防協会負担金 1,453 消防団員退職報償負担金 8,448 保険料 11 交際費 26 消耗品費 200 印刷製本費 8 筆耕翻訳料 10 			
総合計画上の位置付け		安全で快適な生活が送れるまち 地域安全：災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 団員福利厚生事業 消防団員家族慰安事業委託料 700 			
事業の目的	対象	消防団員等							
	意図	消防団の装備、資機材及び消防団の運営活動の充実強化を図り、また、団員の家族も含め福祉の増進並びに厚生を図り、消防使命の達成に資するため							
	効果	消防団及び消防団員の充実強化を図り、消防団員が安心できる消防団活動を行うことができるよう図る							

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)								
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比					
C-1														
予 算 上 の 中 事 業 名	水洗化普及促進事業	統合・再構築	○非定常業務への見直しが必要	統合・再構築	以前から排水施設確認申請予備審査委託業務の見直しを検討しており、統合・再構築を行う。	43,385	28,148	△ 15,237	64.9%					
	中 事 業 に 含 ま れ る 小 事 業 名	水洗化普及促進事業	再構築	○業務内容の精査と効率化が必要	再構築	県上下水道システム情報や排水設備確認申請情報などで未接続家屋等の情報整理及び各種業務の効率化を進めながら、更なる公共下水道利用への普及促進を図る。予算については、業務用車両2台の車検に伴う増	1,198	1,257	59	104.9%				
	水洗化改造支援事業	現状維持	○討議内容が不十分であったため、評価しがたいが、私道の地主から同意が得られないため下水道に接続できないという箇所は、市が誠意をもって対応してほしい。	現状維持	業務の重要性は認められていると認識しており、市民ニーズに対応して業務を遂行する。なお、平成24年度は、前年度の実績等を考慮して対象家屋数を見直し、予算の減額を図った。	42,187	26,891	△ 15,296	63.7%					
所管課名		下水道河川課		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> 水洗化普及促進事業 排水設備確認事務に係る管理業務委託料 消耗品費 燃料費 印刷製本費 車両修繕料 	<ul style="list-style-type: none"> 水洗化改造支援事業 便所改造等補助金 雨水貯留施設転用補助金 小型低地ポンプ補助金 共同私設下水道補助金 くみとり便所改造資金貸付金 浄化槽廃止資金貸付金 裁判資料等申請手数料 	2,451	80	11,025	2,500	1,376	9,409	50	
総合計画上の位置付け		安全で快適な生活が送れるまち 下水道・河川：公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち												
事 業 の 目 的	対象	市民等												
	意図	水洗化の普及促進を図るため												
	効果	水洗化率の向上を図る												

※ 本事業における財政効果額は、差額△15,237千円から下水道特別会計端数処理分36千円を除いた額△15,273千円とする。

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号	評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)				
					H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比	
C-2									
予算上の中事業名	維持管理費 (七里ヶ浜・山崎)	継続・維持	継続・維持	下水処理施設は市民生活の重要なライフラインの1つであり、流入してくる汚水を適正処理するための施設維持管理業務は最重要課題である。このため処理機能の確保や機器類の突発故障の防止を講ずるため、今後も継続して維持管理事業を進めていくものである。	937,752	929,093	△ 8,659	99.1%	
中事業に含まれる小事業名	維持管理費 (七里ヶ浜)	現状維持	現状維持	前述のとおり。予算については、事業経費の見直しによる減	383,809	375,204	△ 8,605	97.8%	
	維持管理費 (山崎)	現状維持	現状維持	前述のとおり。予算については、事業経費の見直しによる減	553,943	553,889	△ 54	100.0%	
所管課名	浄化センター								
総合計画上の位置付け	安全で快適な生活が送れるまち 下水道・河川：公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち								
事業の目的	対象	市民等	平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理費(七里ヶ浜) 薬品等消耗品費 30,852 特A重油等燃料費 602 光熱水費 89,608 水処理施設機器等維持修繕料 9,535 電信料 257 電気定期点検等手数料 3,350 水処理施設等運転管理業務委託料 186,918 污泥処理処分委託料 34,096 管理棟清掃業務委託料 2,030 計装設備点検委託料 5,492 中央監視制御装置点検委託料 4,200 沈砂有効利用処理処分委託料 1,890 魚介藻類影響調査委託料 1,260 植栽維持管理等委託料 2,575 補修用資材・塗料等原材料費 900 印刷製本費 10 備品修繕料 10 車両修繕料 1,569 医薬材料費 3 使用料及び賃借料 47 	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理費(山崎) 薬品等消耗品費 43,626 特A重油等燃料費 3,456 光熱水費 162,030 污泥焼却設備等維持修繕料 55,693 電信料 250 電気定期点検等手数料 9,428 水処理施設等運転管理業務委託料 134,297 污泥焼却施設運転管理業務委託料 67,284 污泥処理処分委託料 14,175 焼却灰処理処分委託料 6,064 污泥焼却設備点検委託料 7,560 焼却灰運搬委託料 4,043 電子計算機等点検委託料 7,733 計装設備点検委託料 13,256 脱臭設備保守管理委託料 15,318 清掃業務委託料 2,888 植栽維持管理等委託料 3,197 補修用資材等原材料費 800 報償費 126 印刷製本費 10 備品修繕料 2,500 車両修繕料 101 医薬材料費 3 使用料及び賃借料 51 				
	意図	流入汚水の処理を継続し、適正な施設機能の維持管理を行うため							
	効果	流入してくる汚水を適正に処理すること、および施設機能を維持し延命を図る							

※ 本事業における財政効果額は、差額△8,659千円から高熱水費の緊急値上げに伴い増額された38,411千円を除いた額△47,070千円とする。

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号		評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)				
						H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比	
C-3										
事業の目的	予算上の中事業名	海水浴場運営事業	統合・再構築	○県、業者と詰めた協議がなされていない。 ○県や海の家等の業者との整備費等の分担についてよく整理してほしい。 ○他市に比べ費用がかかりすぎていることに対し、もっと真剣に対応するべき。	統合・再構築	海水浴場は、市が発意して開設している歴史がある。また、海水浴場組合の営業者は、売上に対して課税をされており、既に相応の義務を負っているため、更なる受益者負担は求められない。一部の海水浴場では海の家騒音やゴミの処理に改善すべき問題があり、市が海水浴場組合にその開設を委ねた場合には、課題の改善が進まず、むしろ現在の状況が助長されるおそれがあるため、引き続き鎌倉市が海水浴場の開設者となることを維持・継続する。	46,828	43,598	△ 3,230	93.1%
	中事業に含まれる小事業名	海水浴場整備事業	再構築	○県と市の役割と持分を明確にしたほうがいい。	再構築	砂防柵の撤去及び設置業務について、海岸の管理者である神奈川県(藤沢土木事務所)と協議を行い、平成24年度から材木座海岸及び由比ガ浜海岸については、神奈川県が実施することで了解が得られた。腰越海岸については漁港区域であることから管理者の鎌倉市が、引き続き当該業務を実施する。	12,513	11,027	△ 1,486	88.1%
	海水浴場監視業務事業	再構築	○監視委託料について費用対効果が不明確 ○海水浴に伴う危険は自分で対応するのが本筋であり、過保護に費用を捻出する必要はない。	再構築	鎌倉警察署との協議により、従来設置していた由比ガ浜臨時警備派出所の機能を滑川交番で補完することとしたため、監視所のプレハブ棟数を見直し、現在の5棟を3棟に減らした。また、監視にあたるライフガードの配置時期及び人数を精査し、経費の軽減を図った。	34,315	32,571	△ 1,744	94.9%	
所管課名		観光商工課								
総合計画上の位置付け		活力ある暮らしやすいまち 観光：観光に高い魅力と独自性があるまち								
対象		海水浴客等		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)		<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場整備事業 なぎさ整地事業委託料 4,998 砂防柵の撤去及び設置委託料 998 放送設備及び放送塔設置委託料 1,784 コースロープ設置委託料 1,494 仮設木橋設置委託料 1,500 電信料 99 消耗品費 155(両小事業共通) 				
意図		海水浴場を3海岸で開設するために、安全確保のための諸設備の整備、監視業務等の委託を行い、安全で快適な海水浴を楽しむことができるようにすること				<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場監視業務事業 海水浴場監視業務等委託料 24,727 防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料 2,759 監視所・仮設トイレ等賃借料 4,565 海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金 519 				
効果		海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる								

平成23年度鎌倉市民事業評価結果に対する取組方針表

番号 模倣	評価結果	評価結果の主な理由	取組方針	取組方針を定めた具体的な理由	事業費当初予算(単位:千円)			
					H23年度	H24年度	差額 (財政効果額)	前年比
予算上の中事業名 文化行政推進事業	統合・縮小	○新しい企画に着手し、実施の目途が立った時点で実行部隊へ仕事を渡すという進め方が良いのではないかと。○事業の効果測定は難しいが、参加した市民がどう感じたかを認識しておかないと次の企画につながらない。	継続	当事業の企画、運営は文化推進課単独、または市民団体と協働で行っており、実施に当たっては、常に社会経済状況、市民の文化に対する意識等を勘案し各事業の趣旨、市の関わりの度合について再確認しながら、合理化を心掛けた事業運営を行っている。今後も協働の市民団体等と緊密な調整を行うとともに事業ごとに実施しているアンケート調査等を参考に、効率的かつ適切な実施方法等を工夫したい。	13,094	11,260	△ 1,834	86.0%
中事業に含まれる小事業名	文化推進プラン21改定	○文化推進プランについては、完成したものが活かされなければならない。○作ることが仕事にならないよう配慮が必要	現状維持	当事業は平成23年度から2年間で改訂することを予定している。通常プランの作成・改訂等には、審議会等で専門委員や市民の意見を聴き検討することが行政の常道とされているが、当該プランの改訂の手法として、外部の専門家の助言や市のEモニター制度を活用することにより、同様の目的・効果が得られると同時に前者に比べ経費や事務量をかけない方法で改訂作業を進めている。また、実行性を伴うプランとなるよう検討しているところである。	34	34	0	100.0%
	ようこそ先達事業	○こういう事業は、どんどん進めればよい。あとは人選の問題だけである。○拡大していくべきだが、学校を所管する部署が実施するという土壌づくりが必要○学校側の予算で、学校が自主的にやれる事業のサポートを企画部門が行うほうが良い。	拡大	市内小中学校の総合学習の時間数が削減されている状況の中、学校の意向を再確認しつつ事業の拡大について検討していく。	100	100	0	100.0%
	鎌倉市民文化祭事業	○経費をかけずに事業が充実するよう検討を進めてほしい。○参加人数ではない目標値の設定が必要。アンケート調査で満足度を計るということでも良いかと思う。	改善維持	当事業は鎌倉市文化協会役員、市民等が企画運営委員となり企画運営を担い、市と共催で実施している。平成23年度には実務作業を委託化することにより職員の時間外経費を削減するなど、見直しを心掛けている。今後も、市民に理解を求めつつ委員会と緊密な調整を図り、期間を限定して集中的に実施するなど、効果的、効率的に事業を行っていく。	9,305	8,568	△ 737	92.1%
	高田博厚展開催事業		平成24年度新規(周年)事業	本市ゆかりの彫刻家高田博厚氏の没後25年にあたり、寄贈を受けている作品を展示することで、市民等に高田博厚氏の偉業を広く紹介する事業	—	798	798	—

中事業に含まれる小事業名	Jazz in 鎌倉事業	廃止 (主体変更)	○実行委員会に事務を渡してしまってもよいのではないか。○市民文化祭と期日を合せて参加者を増やせばよい。○枠組みを変えることが必要。自立、統合、どちらでも良いので再考すること。	改善維持	当事業は市民等で構成されたJazz in鎌倉実行委員会と共催で実施し、事業実施に伴う経費のうち、施設使用料等を市が負担している。今年度から実行委員会に自立を求め、すでに事務についても実行委員会がすべて担うこととしている。平成24年度からは、市の経費負担を見直し、実行委員会へ施設使用料の一部の負担を求めることについて実行委員会と調整がついている。コンサートは、毎年満席状態。幅広い年代の市民が文化に触れる機会となっており、ジャズ愛好家の裾野を広げた効果もあった。今後は実行委員会と協議し、他の文化事業との整合性を図っていく。	1,900	1,080	△ 820	56.8%
	所蔵文化作品保管業務	縮小	○管理について、事務を担当する部署の一元化ができるのではないか。そうすれば事務に対する人件費も減るのではないか。	統合	組織の見直しと併せて、生涯学習課所管予算と文化推進課の予算を統合した。(社会教育運営事業へ移行)	1,040	0	△ 1,040	0.0%
	鎌倉市文化協会等補助金	縮小	○市民文化祭と同様、経費をかけずに事業が充実するよう検討するべき。	縮小	約17,000人の市民が参加する鎌倉市文化協会及び実朝忌俳句大会への支援は市民の文化活動の育成に資するものであるが、補助金額を見直し5%の減額を行うこととした。	715	680	△ 35	95.1%
所管課名	文化人権推進課		平成24年度 予算に関する 主な費目 (単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> 文化推進プラン21改定 文化推進プラン21改訂に伴うアドバイザー謝礼 34 高田博厚展開催事業 高田博厚作品展に伴う業務等委託料 798 					
総合計画上の位置付け	歴史を継承し、文化を創造するまち 文化：文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち			<ul style="list-style-type: none"> ようこそ先達事業 ようこそ先達事業講師謝礼 100 Jazz in 鎌倉事業 芸術館使用料 1,080 					
事業の目的	対象	市民等		<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市民文化祭事業 事務補助嘱託員報酬 1人 1,029 事務補助嘱託員費用弁償 44 芸術館使用料 4,579 鎌倉市民文化祭負担金 2,886 消耗品費 27 印刷製本費 3 鎌倉市文化協会等補助金 618 鎌倉市文化協会補助金 62 実朝忌俳句大会補助金 					
	意図	鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を図るため							
	効果	市民をはじめとする多くの人が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図る							